

いしざきレポート



2006年6月

梅雨空を見上げる
梅雨そらを楽しむ
心を求めて

公園、今むかし

危険な境界杭の改善

公明党

市議会議員 いしざき ゆきお

自宅：船橋市松ヶ丘5 - 46 - 4

電話・ファックス 469 - 7966

市役所控え室：電話 436 - 3032

境界杭の処理作業がおわりました 自衛隊習志野演習場にそった歩道の整備

国道296号線（成田街道）の自衛隊習志野演習場に沿った歩道上に、境界を示す防衛庁の杭と千葉県の杭合わせて50本以上があり大変危険でした。このたび撤去工事が終わりました。引き続き歩道段差解消の要望をしてみたいです。（上段処理前、下段処理後）



ご意見・ご提言をファックスにてお待ちしております。

(ご連絡先)

公園、今むかし

少子化を反映してか、公園の様子が少し変化しているように感じます。今までは、公園には小さな子どもが遊び、その愛らしい姿を微笑ましくみつめる若いママさんが傍らにいました。

午後、学校帰りに友達同士夢中に遊ぶ児童の光景がありました。しかし今、そんな姿もなかなか見ることが無くなりました。

一方で、高齢者が公園でゆったりとした歩みを楽しんでいる姿を見ることが多くなりました。またグランドゴルフに張り切るグループの歓声も響きます。高齢者が公園にいと、孤独を見る思いがすると寂しさを感じる一場面もあったようですが、そんな光景も少しつつ変わってきました。

公園のリニューアルが必要になりました。いわゆる健康遊具を配してのシニア向けの公園が好評のようです。早朝のラジオ体操の前後や、昼下がりの軽い運動などに利用する大人が増えています。室内より開放感がある公園の緑があり、人との会話がスムーズになるのも公園の空間でしょうか。

高齢化が進む中、公園もあらゆる社会変化に対応した形でリニューアルされることを要望していきたいと考えます。